

どの感情（気持ち）も大事

早いものでもう2月。2月3日は節分でした。今年の恵方は南南東。南南東を向いて、巻きずしを食べた子や、豆まきをした子も多かったようです。全校朝会では、豆まきにちなんで自分の中にこっそり潜んでいる「心のオニ」のことや、「どの感情も大事な感情なんだよ」というお話をしました。

日々の生活の中で、私たちは多くのことを経験したり体験したりしています。そしてその都度、様々な感情を感じていると思います。例えば、算数のテストで100点だった。その時は「やったー」と嬉しい気持ちになったり、「よし次も100点取るぞ!」という前向きな気持ちが芽生えたりすることでしょう。逆に、友だちに悪口を言われた時には、「悔しい」「腹が立つ」「悲しい」等の気持ちが沸き起こってくるでしょう。このように、人間には大きく分けて「嬉しい」「楽しい」「安心」等のポジティブな感情と、「不安」「怒り」「悲しみ」等のネガティブな感情があります。「みんなはどちらが大事だと思う?」と尋ねると、「ポジティブな感情の方が大事」と答える子が多かったです。でも、高学年の児童の中には、「ネガティブな感情の方が大事」と答える子もいました。

そこで、子どもたちには、どちらも大事な感情なんだということを伝えました。特にネガティブな感情の役割は恐怖や不安から自分を守ってくれる感情なんだということを伝えました。そして、人間にはこうした感情が備わっていたから、厳しい環境の中でも生き延びてきたことや、ネガティブな感情とも上手く付き合っていくことがとっても大切なんだよというお話をしました。

まだ幼い子どもたちにとっては、ネガティブな感情を自分で上手にコントロールすることは難しいですね。そこで、心の葛藤をイメージしてもらうために「心のオニ」を登場させてみました。「そんなに腹が立つんなら、物に当たったらいいじゃない」「そんなに腹が立つんなら、大声出したらいいじゃない」「そんなに腹が立つんなら、喧嘩したらいいじゃない」とつぶやく心のオニ。そんなオニが出てこないための対応策をいくつか紹介しました。例えば「誰かに辛い気持ちを聞いてもらう」「とりあえず苦しい場所から離れる」「自分が落ち着くことをする」「6秒数える」等です。心のオニがムクムクって現れてこないように、自分に合った対処法を考えて、自分の感情と上手に付き合っていくことのできる、そんな子どもたちを育てていきたいなと思います。



本を寄贈していただきました！



「子どもたちに、たくさん本を読んでほしい」と、本校の地域協働学校運営委員会の会長である安信利治様より、今年度もたくさん本を寄贈していただきました。本は心の栄養と言われています。読書を通して、子どもたちの心がさらに豊かになってくれることを願っています。御津南小の子どもたちのことを、我が子のように大事に思ってくださいのお気持ちに頭がさがります。本当にありがとうございました。大切に読ませていただきます。



裏面あり



上手にハサミで切れているよ！
(新1年生の体験入学の様子)



わあ〜い！雪だあ〜(1月25日、
早朝の運動場で遊ぶ子どもたち)



雪うさぎをつくったよ！



あともうちょっとだよ
(新1年生の体験入学の様子)



雪だるまをつくったよ！



こんなぶ厚い氷があったよ〜



子どもたちの ふだんの様子 エトセトラ



自立活動で調理実習をしたよ！



「みそあじよ」に気を付けて
学校生活をおくろう



もっと腰を屈めてごらん(6年生から
5年生へ和太鼓の伝達の様子)



次は君たちが伝統を守ってね！
(6年生から5年生へ和太鼓の伝達の様子)



避難訓練(地震)では
先生の指示をよく聞いて
机の下にもぐって体を守っ
ていました！



3学期からALTのジェシー先生が来られました。
音楽がとっても堪能な先生です！



座布団などで頭を守りながら避難しています